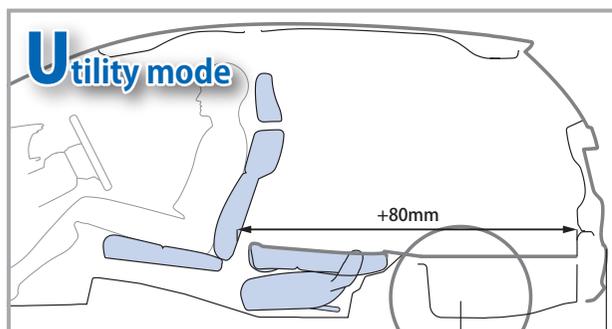


さらに広く、もっと使いやすくなった フィットならではの多彩なシートアレンジ。

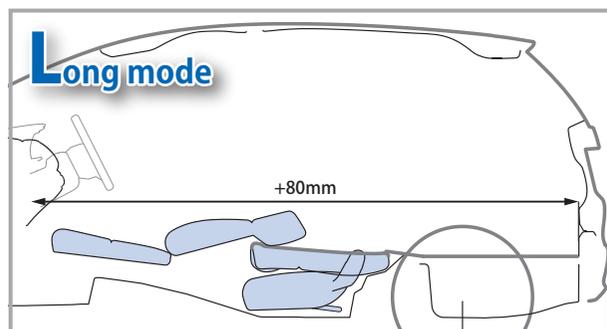


ホイールベースの延長とリア席の後方配置により、リアまわりの空間を大幅に拡大。シートアレンジ各モードでの広さと使いやすさを高めるとともに、上質な操作感のダイブダウン機構を新開発するなど、独自のULTR SEAT(ウルトラシート)^{*1}をさらに進化させました。

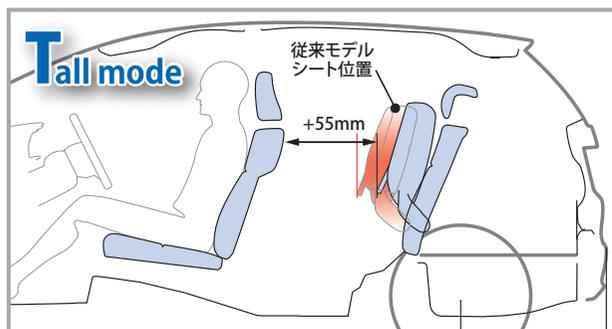
格段に進化した ULTR SEAT (ウルトラシート)



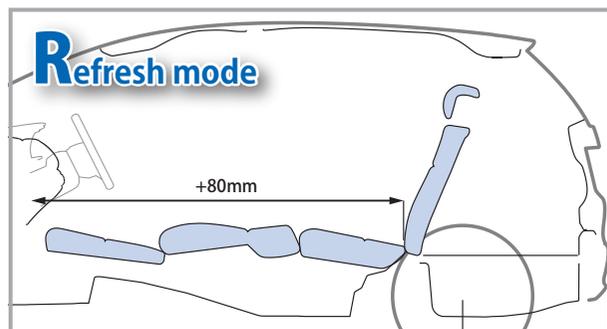
●ユーティリティー・モード
従来モデルに対し荷室長を80mm拡大。圧倒的な奥行きと高さで2人掛けソファや50インチテレビの縦置き積載も可能です^{*2}。



●ロング・モード
ロング・モード時の有効スペース長も、従来モデルに対し80mm拡大。長尺物が収納でき、趣味に買い物に活躍します。

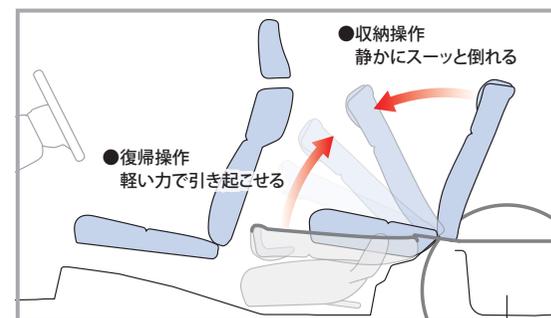


●トール・モード
チップアップ時のシート座面位置を従来に対し55mm後方に移動。背高荷物もゆとりを持って積めるようにしました。



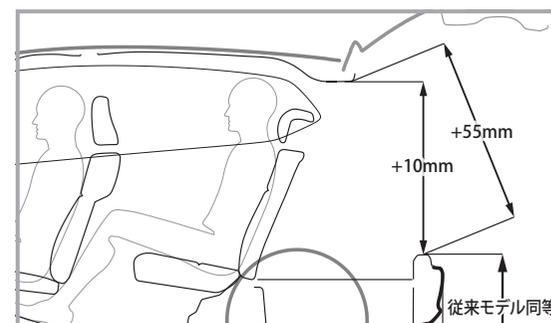
●リフレッシュ・モード
足を伸ばして休めるリフレッシュ・モードも、従来モデルに対し80mm延長。これまで以上にのびのびとくつろぐことができます。

新ダイブダウン機構(15X)



ダンパーとスプリングを内蔵したダイブダウン機構を新たに開発し15Xのリアシートに採用。収納時は背もたれがゆっくり静かに倒れ、復帰時は軽い力でスムーズに引き起こせます。

積み降ろししやすい大開口テールゲート



テールゲートの開口をさらに広げました。従来モデルと同等の地上高と全高を守りながら、開口長を55mm、開口高を10mm拡大し、高さのある荷物をより容易に積み降ろしできるようにしました。

●数値はすべて従来モデル比。 *1 13Gのパッケージオプション非装着車とHYBRIDのパッケージオプション非装着車はリア席シートバック一体可倒式となります。 *2 サイズや形状によっては積載できない場合があります。